

射水市の郷土の偉人「藤井右門」が風化しそうです。  
私たちはそのことを憂い、藤井右門の生誕300年  
となる令和2年に記念事業を行い、藤井右門への関心  
を高める事業に取り組みます。  
このフォーラムはその一環として開催するものです。

令和2年

8月23日(日)

午前10時~12時

(午前9時30分受付開始)

### 第1部 基調講演

越中勤王家の系譜  
~藤井右門を中心に~

越中史壇会 会長  
米原寛氏

### 第2部 パネルディスカッション

東京大学史料編纂所 学術支援専門員

杉山巖氏

山梨県甲斐市教育委員会 学芸員

長谷川哲也氏

越中史壇会 会長  
米原寛氏

コーディネーター 小杉歴史愛好会  
寺岡伸清

主催 小杉まちづくり協議会

後援 射水市・射水市教育委員会

北日本新聞社・射水ケーブルネットワーク(株)

入場整理券は、三ヶ戸破コミュニティセンター、竹内源造記念館にあります

問合せ 寺岡 090-7742-1680

このフォーラムは射水市公募提案型市民協働事業の助成を受けて実施するものです。

# 明治維新の源流を創った男たちを

## 将来に語り継ぐフォーラム

藤井右門  
(富山県)



竹内式部  
(新潟県)



山縣大弐  
(山梨県)



入場無料

\*要入場整理券

会場 救急薬品市民交流プラザ  
(いみず市民交流プラザ)





## 藤井右門ちゃどんなん？

藤井右門は射水市(旧小杉町)に生まれた 18 世紀の勤王の志士(一般的評価)で 1720 年に生まれ、1767 年に亡くなっています。

父は元赤穂藩の江戸家老だったのですが、その任期中に忠臣蔵等があつて途中辞任し、越中小杉に移住しました。

また、父は家老を辞任する際に武士の身分も捨てたので、右門は町人として生まれました。しかし、町人の環境の中でも右門の才能は開花し、富山藩前田氏の支援もあつて学問修行のために上京します。

右門は京都でその類まれな才能を開花させ、時の桃園天皇に竹内式部と学問を講じる役割を与えられるまでになりました。しかし、公家衆間の対立を基とした宝暦事件に巻き込まれ京都を逃亡することになりました。

その後 8 年もの逃亡行脚を続けて後、江戸で兵学塾を開いていた山縣大弐と出会い、さらなる学問研究指導に没頭していきました。

しかしながら、右門たちが指導していた考えの一つの柱が、幕府の政治を終わらせるというものであったこともあり、右門は竹内式部、山縣大弐らとともに幕府に捕らえられて刑死することになります。これを明和事件といいます。(＊明治維新後、右門らは名誉を回復し、右門は明治24年に政府より正四位が与えられた。)



右門たちの活動は、明治維新の 100 年も前に既に考え行動していたことです。

さすがに、明治維新前夜の幕末とは異なり、右門たちの時代はまだ幕府政治が安定しており、直接の成果を上げることはできなかったのですが、彼らの歴史的業績は、このタイトルでも示している通り、「明治維新の源流を創った男」と言えると考えられます。

天皇親政の復活、幕府政治を終わらせること、明治維新の骨格となったこの二つの推進を明治維新の 100 年も前に既に学問として整理するだけでなく行動にまで移していたことは、彼らの先進性の高さを示すものと考えられます。

その意味からも、藤井右門という人物は現在日本史の教科書には掲載されていませんが、確かに明治維新の源流をその実現の 100 年も前に明示した人物であり、郷土の偉人であることはもちろん、日本史上においても大きな役割を果たした人物です。

藤井右門は今年生誕 300 年の記念の年です。この機会にぜひ郷土の偉人「藤井右門」を知っていただき郷土の歴史に関心を持っていいただければ幸いです。